

学籍番号 () 氏名 ()

1. 臨床判断のプロセスについて () に適切な語句を書きなさい。また、設問に答えなさい。

(1) 臨床判断のプロセスには (①) → 解釈 → (②) → 省察の4つのプロセスがある。

(2) 解釈には、分析的推論、直観的推論、(③) 推論がある。

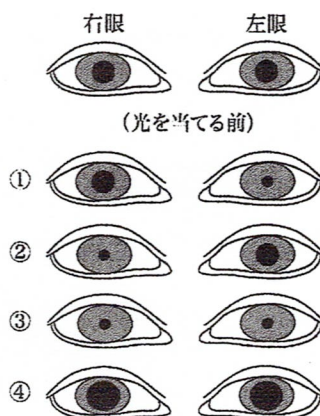
(3) 分析的推論とはどういう推論のことか書きなさい。

(4) 直観的推論とはどういう推論のことか書きなさい。

(5) 省察とはどういうことか思いつく限りすべて書きなさい。

2. 一般的な瞳孔径の正常値の範囲は何mmから何mmまでか答えなさい。

3. 左眼に光を当てた時の正常な対光反射はどれか。



4. ジャパン・コマー・スケール(JCS)のⅢ(3桁)で表現される意識レベルはどれか。

① 意識清明の状態 ☒

② 刺激すると覚醒する状態 ☒

③ 刺激しても覚醒しない状態 ☒

④ 刺激しなくても覚醒している状態 ☒

5. Aさん(53歳、女性)は休日に公園を散歩中、階段から落ちて頭部を強打し、意識を消失した状態で病院に救急搬送された。病院到着時のAさんは開眼せず、声は発しているが理解不能である。痛み刺激には逃れようとする動作がみられる。

グラスゴー・コマー・スケール(GCS)によるAさんの意識レベルの評価はどれか。

① E1 V1 M2

② E1 V2 M4 ☒ 点数小取れると判定

③ E2 V2 M2

④ E4 V5 M5

6. 聴診器を用いた気管呼吸音の聴取部位で正しいのはどれか。

① 喉頭直下の上胸部(胸骨上部)

② 肋骨縁と鎖骨中線の交差部位

③ 第2肋間と鎖骨中線の交差部位

④ 第4胸椎正中から肩甲骨部

7. 副雑音の種類について()にあてはまる語句を書きなさい。

	種類	音の例	おもな原因
連続性副雑音	(①)	ヒューヒュー	●気管支喘息 ●気道狭窄 ●心不全
	(②)	ゲーゲー	●痰などの貯留 ●肺炎 ●気道狭窄など
断続性副雑音	(③)	パチパチ	●心不全 ●肺水腫 ●肺炎 ●肺線維症 ●間質性肺炎
	(④)	ブツブツ	●気管支拡張症 ●肺炎 ●慢性気管支炎 ●肺水腫
その他	胸膜摩擦音	ギューギュー、バリバリ	●皮下気腫 ●胸膜炎

8. 次の事例を読み設問に答えなさい

78歳男性の U さんは、糖尿病のためインスリン導入目的で入院した。1,600kcal/日の制限食が開始され、全量摂取している。U さんは、食事療法の必要性は理解していたと言われていたが、外来受診時の HbA1c は 9.8%と高く、自宅での食事療法はうまくいっていないことが考えられた。インスリン療法を導入して 2 日目の朝7:00に訪室すると、U さんは普段よりぼんやりしている様子で、冷汗をかいていた。「U さん」と呼びかけても、返答が遅く、意識レベル低下が考えられた。血糖値を測定すると、68mg/dL であった。

(1)U さんの状態から考えられることをできるだけ具体的に思いつく限りすべて書きなさい。(解釈)

その後、U さんは適切な処置を受け、午後には普段どおりのU さんの姿が見られた。

午後の検温時、U さんの足の状態を観察し、足背動脈触知、ホーマンズ徴候、浮腫の観察を実施した。

(2)U さんの足の状態の何を観察しますか。思いつくものをすべて書きなさい。

(3)足背動脈触知はなぜ行う必要があるのか、答えなさい。

(4)ホーマンズ徴候はなぜ行う必要があるのか、答えなさい。

(5)浮腫はなぜ観察する必要があるのか、答えなさい。

※説明が具体的な場合は加点、説明に不足や単語のみで説明とは言い難い場合は減点とします。

9. 「臨床判断能力」か「クリティカルシンキング」のどちらか一つを選び、その用語の意味を説明しなさい。

88

学籍番号 ()

1.	(1)① 気づく	② 反応する	(2)③ 説話的
	(3) 治療や疾患がどのような知識やエビデンスに基づいて思考する		
	(4) 自分の今のまでの経験から今の状態を把握する		
	(5) 実践中「実践している時にその実践を変えるのか、続けるのかを考える。 実践後「その実践したことを振り返り、実践したことを変えるのか、今後も続けるのかを 考えること		
2.	2.5mm ~ 4.0mm	3. ③	4. ③
5. ②	②	6. ①	7. ① 笛音
② いびき音	③ おんげの音	④ 水泡音	
8.	(1) ・高血圧症 ・脂質異常症 ・低血糖 ・低血糖症状出現 ・食事療法がうまく行えていなかった(日常生活の乱れ) ・食事に対する知識がなかった 2か月間の血糖が高かった ・糖尿病に対する理解が不十分 ・インスリンがうまく使えていなかった 入院中から しかも2日目から Nsがつかまよね。 もしくはNsが 注射してる。 10 5		

(2)

足の感染兆候

・冷感

・紅腫

・合併症リスク (糖尿病足病変、神経障害) ・足背動脈は触知できるか

浮腫

・ホーランド徴候

・爪が正しく切れているか

・靴下は履いているか

・足に外傷はないか

・清潔を保っているか

(3)

動脈硬化症の兆候がなにか見る

HbA1cは、6.5%が正常で9.8%と高値であり、2ヶ月の血糖が高い、持・脂質異常症と糖尿病のリスクがあると考えられ、リスクが高い。中性脂肪が増えると動脈硬化症のリスクが上がるため

(4)

下肢の深部静脈血栓症の兆候がなにか見る。

触は、リハビリやベッドから立ち上がる時に足も、背屈しない。と血栓が脳や肺に³いってしまう可能性もある。血栓が動き歩行時で転倒リスクもあるため

(5)

ナトリウム不足するの？

ナトリウム不足 すると水を引き込む力がなくなると、浮腫になる。持、糖尿病合併症である。腎症や神経障害のリスクがあるかもしれないため

9.

「臨床判断能力」 ・ 「クリティカルシンキング」 どちらか選んだ方に○をつけて下さい。

患者さんを受け持った時、その人の状態を客観的に捉え、今の状態を把握し今後、起こりうる状態を考えたセオリーを組むこと。

患者さんを判断する力のこころ

ちゃんとおまけ